

一般質問

川下
議員

○鷹島神崎遺跡の保存活用について

今回の一般質問は人口減少になんとしても歯止めをかけなければならぬという思いが根底にある。松浦市発展のためには本市に現存する資源をフルに活用して全国にPRしていきたい。その中で、日本でただ一つの国指定海底遺跡である鷹島神崎遺跡は中でも重要な資源であると考え、以上のことを踏まえて以下質問する。

質 本市における当遺跡の役割や可能性について市長はどのようにお考えか。

市長 「地域の価値観(松浦らしさ)の確立」を図る上で重要なものの一つです。この価値を市民皆様と共有し、鷹島を水中考古学の拠点とすることを目指していきたい。

質 市長は当遺跡についてどのような未来図を描いておられるのか。

市長 将来的には元寇船を引き揚げたい。これは最大の未来図だと思っています。その実現のために、鷹島神崎遺跡保存管理計画に基づく短期、中期、長期それぞれの計画に取り組んでいます。

質 市民に対して市長の描くビジョンについて示す機会が必要と考えるがどのようにお考えか。

文化財課長

普及啓発活動として、小中学校を対象とした体験学習や出前講座、水軍まつりや松浦こども博福岡で開催されるイベントでのPR活動を行っています。そのほか、SNSや市報において市民の皆様情報発信しています。

質 学術的意義も大切だが、市民にとっては当遺跡を保存活用することによって松浦市がどうなるのか、市民の生活にどう影響するのかという部分を示さないと理解や期待の広がりではないのではないか。

市長 保存管理計画で示すものが松浦市の基本的な考え方です。どのような効果や価値があるかは、これらの研究の中で研究者の御助言をいただきながら見つけていく。その中で市民の皆様にもお示しできると思っています。

質 文化財保護法改正により、文化財保護の事務が教育委員会部局から市長部局への移管が可能になった。より観光資源としての活用のため、市長部局への移管を提案したいがいかがか。

教育長 現在、調査・研究が進行中であり、発掘調査、保存処理法など多くの課題があり当面は教育委員会内で体制を維持したいと思います。

このほか、文化公演事業並びに松浦市子ども議会について質問しました。

一般質問

神田
議員

○原子力防災対策について

質 県議会一般質問で、佐賀県道筒井万賀里川線の改良について質問があり、県としては国に対し財政支援の要望とモデル事業の活用を含めてという答弁であったが、モデル事業の内容についてお尋ねしたい。

防災課長 原子力災害時における住民等の避難をより円滑に行うための取り組み等について国が補助金を交付するものです。具体的には、案内板の設置やソフト事業が中心となっています。避難経路に退避場所を設置する規模の工事までが対象です。

質 市長は国への要望活動について、県及び4市合同、また市単独でも続けていかれるか見解をお伺いしたい。

市長 引き続きしっかりと行っていくます。単独でということよりも、まずは長崎県プラス4市、このスクラムを組んでしっかりと要望を重ねていきたいと考えています。

質 仮に、玄海原発事故の場合、風向きによっては鷹島から肥前町へ避難できない場合が想定される。長い目で見たとき、鷹島から松浦への原子力災害避難大橋の建設を国へ要望していく考えがあるのかお伺いしたい。

市長 現時点では、福島と鷹島に全ての住民が避難できるような防護施設が必要であるため、その整備が実現できるように力を注いでいきたいと考えています。

○鷹島診療所の今後のあり方について

質 現在、診療所に入所されている皆様への処遇について、市の支援策をお尋ねしたい。

健康ほけん課長 新たにつくるグループホームへの入所については、今現在入所されている患者さんを優先すること、他の介護施設等への希望があれば、入所の相談や移転に対する支援を考えています。また、平成36年3月を一つの区切りとして、現行の利用者の負担と変わらないような支援を考えています。

質 診療所で嘱託職員として働いている方々の今後の処遇については、どのように考えているかお尋ねしたい。

健康ほけん課長 丁寧な対応に努め、新たなグループホームでの勤務を希望されれば、その旨を事業者に伝えていきます。

質 グループホームの一業者2ユニットで計画されているが、2ユニットで足りない場合が生じたときの市の支援策をお尋ねしたい。

長寿介護課長 鷹島地域や市内の状況を見ながら、その必要なサービスについて介護保険事業計画に反映していきたいと考えています。